

## 愛媛県バランスシート、行政コスト計算書の概要

### <作成の目的>

本県の財政事情について、県民への情報提供の充実を図るため、昨年度に引き続き、総務省から示された基準に基づきバランスシートと行政コスト計算書を作成した。

### <バランスシート>

#### 【普通会計分】

#### 1 作成方法

- (1) 対象会計 普通会計
- (2) 基準日 平成16年3月31日
- (3) 基礎数値 主として昭和44年度以降の決算統計データ

#### 2 概要

- (1) 資産総額：2兆5,978億円（原則、取得原価による評価）  
うち有形固定資産：2兆4,006億円（構成比92.4%）  
※有形固定資産：道路、橋りょう、学校、庁舎等

〔 県民1人当たり  
資産総額：173万5千円 有形固定資産：160万4千円 〕

- (2) 負債総額：1兆1,213億円  
うち地方債残高：9,425億円  
※「地方債」と「翌年度償還予定額」の合計  
うち退職給与引当金：1,789億円

〔 県民1人当たり  
負債総額：74万9千円 地方債残高：63万円 〕

- (3) 正味資産：1兆4,764億円  
※資産合計から負債合計を差し引いた額

#### (4) 有形固定資産形成の財源構成

有形固定資産合計2兆4,006億円に対し、地方債残高は9,425億円で、有形固定資産の3分の1以上を将来世代の負担で形成し、残りを国と現役世代で負担していることになる。ただし、国庫支出金の財源には国債が充てられている部分があるため、実質的な世代間の負担区分の把握は困難である。

## 【県全体分】

### 1 作成方法

- (1) 対象会計 普通会計及び公営事業会計
- (2) 基準日 平成16年3月31日
- (3) 基礎数値 主として昭和44年度以降の決算統計データ

### 2 概要

#### (1) 資産

資産総額：2兆6,673億円（普通会計の1.03倍）  
うち有形固定資産：2兆4,842億円（構成比93.1%）

#### (2) 負債

負債総額：1兆1,783億円（普通会計の1.05倍）  
うち地方債残高：9,919億円  
うち退職給与引当金：1,806億円

#### (3) 正味資産：1兆4,890億円

※資産合計から負債合計を差し引いた額

## <行政コスト計算書>

### 1 作成方法

- (1) 対象会計 普通会計
- (2) 対象コスト 平成15年度の行政サービスに要した費用  
※資産形成につながる支出を除いた現金支出に、減価償却費、不納欠損額、退職給与引当金等の非現金支出を加えた額
- (3) 基礎数値 主として平成15年度決算統計データ

### 2 概要

#### (1) 行政コスト総額：5,054億円

##### ○性質別内訳

人件費等の人にかかるコスト：1,913億円（構成比37.9%）  
物件費等の物にかかるコスト：1,503億円（構成比29.7%）  
扶助費等の移転支的コスト：1,405億円（構成比27.8%）など

##### ○行政目的別内訳

教育費：1,448億円（構成比28.7%）  
土木費：1,190億円（構成比23.5%）など

##### ○県民1人当たりコスト総額：337,618円

#### (2) 収入項目

使用料・手数料等：292億円（5.8%）

※分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金などの合計  
国庫支出金：774億円（15.3%）

※資産形成に資するものを除く。

一般財源：3,279億円（64.9%）

※地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税などの合計

（ ）は行政コスト総額に対する割合

(3) 経年比較（平成11年度～15年度）

13年度までは、行政コスト全体として増加傾向にあったが、14年度以降については、減額の給与改定があったことによる人件費の減や、厳しい財政状況を踏まえて、経費節減を徹底したことなどから、減少に転じている。